

ふたごの



町花：山百合

議会だより

12月定例会 No.150
令和2年1月20日

可決した条例・議案等	2
臨時議会	5
全員協議会	6
一般質問：台風災害対応など7議員が12問	7
追跡レポート	15
みんなのページ	16



こども園生活発表会



借料などを可決

12月定例会は6日から12日まで、7日間の会期で開催されました。古殿町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例を始め、古殿町第7次振興計画の策定など、12議案が原案の通り可決され、12日に閉会しました。

議案
審議

**古殿町会計年度任用職員の給与及び支給に
関する条例**

法改正により、会計年度任用職員制度が令和2年4月1日より施行されることに伴い、その給与及び費用弁償等の支給に関し、必要な事項を定める条例の制定です。

質疑

Q 現在の非常勤職員、臨時職員の人数は。

A 臨時職員が50数名。他に徴収嘱託員などが会計年度任用職員になります。

Q 現在雇用している臨時職員をスライド任用は可能か。実際に公募試験を行うのか。

A 基本的には公募試験となりますが、現在も臨時職員として採用している方については、書類審査、勤務状況等の確認をした中で採用するかを決定していきたいと思えます。

Q 専門的な知識を有する特別非常勤職員はどのくらいの人数を予定しているか。

A 学校医、統計調査員など特別な業務に携わる方で、人数としては少数です。

Q 現在フルタイムで働いている臨時職員はどれくらいいるか。

A 役場庁舎内の臨時職員、ごども園の臨時職員、学校の用務員等です。

Q 附則の保健協力員設置条例は廃止するというのは、協力員そのものがなくなるのか。それとも条例が廃止されるだけか。

A 条例を廃止し、新たに規則の方で制定します。

採決

全員賛成

可決

議案
審議

古殿町第7次振興計画の策定について

昨年度より策定作業に入っていた振興計画について、正式な原案として決定したことを受け、議会に議決を求めるものです。

Q 基本構想の中に、火事が起きにくい状態とあるが、消防団員数を今後どのように考えていくのか

A 審議会の中で話し合われたのか。

Q 消防団員は現在261名おります。その人数を下回らないよう加入を呼び掛けます。

A 第6次計画の検証内容は、計画の前にアンケート調査を実施しました。満足度の低い部分

について第7次計画の中で検討し策定しました。

Q パブリックコメントの内容にはどのようなものがあったのか。

A 具体的な意見は寄せられておりませんでした。

追加議案

議案
審議

財産の取得について

職員用パソコン購入

契約金額 1958万円

契約の相手方 福島県郡山市堤下町13番8号

(株)エフコム 代表取締役社長 瓜生利典

採決

全員賛成

可決

台風19号による 災害復旧機械賃

議案
審議

一般会計第5次補正予算

歳入歳出を2297万5千円増額し、総額53億30万2千円とするものです。

主な歳入は、個人町民税、財産収入における基金運用利子、町債における過疎債の増額。

歳出は、県人事委員会勧告に準ずる給料及び台風19号に伴う職員の間外勤務手当などの人件費のほか、戦略的産地づくり総合支援事業補助金、イノシシ被害増加による有害鳥獣被害防止対策事業補助金、台風19号被災箇所復旧に対する機械賃借料などです。

質疑

Q 戦略的産地づくり総合支援事業補助金の
中身は。

A 山菜用ハウス設置資材とミニトマトの溶液栽培用資材にかかるもので、2軒の農家への支援です。

採決

全員賛成

可決

人事案件

固定資産評価審査委員会 委員の選任に同意



橋本 富夫 氏
住所 山上字飯宿
任期 令和4年12月23日



大樂 勝男 氏
住所 鎌田字滝
任期 令和4年12月23日



議員在職35年以上 関根議員に総務大臣感謝状

関根角男議員は、昭和59年に初当選して以来、議会議員として35年以上在職され、町議会議長を歴任するなど地方自治の振興発展に寄与され、昨年10月15日東京において総務大臣より感謝状が贈られました。また、11月13日には、30年以上の在職により全国町村議会議長会創立70周年記念永年功労として特別表彰されました。

提出した意見書

◎ 厚生年金制度への地方議会議員の加入を求める意見書

発議者 緑川 栄 一 議員
賛成者 佐藤 弘 信 議員

採決

全員賛成

可決

◎ 看護師と介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書

発議者 緑川 栄 一 議員
賛成者 佐藤 弘 信 議員

採決

全員賛成

可決

お詫びと訂正

149号の4ページ質疑の中で、シルバー人材センター解体費について「坪単価」とありましたが、「平方メートル単価」にお詫びして訂正します。

台風19号被災状況視察

常任委員会の活動

総務常任委員会



総務常任委員会は、ふるどのこども園、(有)古殿製材所を視察し、台風19号による被災状況等の説明を受けました。
また、臨時議会で変更契約をした、町道竹貫田いわき線の台風19号による法面崩落個所の現地確認を行いました。

台風により法面が崩落したふるどのこども園の裏山

産業建設常任委員会



産業建設常任委員会は台風19号で被災した林道薄木線、町道小松川須巻線を現地視察しました。
現地視察後、視察箇所について、意見交換をしました。

大雨により路面洗掘した薄木林道

第3回

臨時会

工事請負金額の変更

第3回臨時会は11月22日に開かれ、10月1日付けで専決処分された議案を含む6件が提出されました。専決処分は消費税改正に伴う工事請負金額の変更、台風19号の被害による災害復旧のための一般会計第3次補正予算、また台風19号による被災者に対する町民税等の減免に関する条例、一般会計第4次補正予算がそれぞれ承認されました。

可決された主な条例等

町民税等の減免に関する条例
 台風19号により甚大な被害を受け、担税能力等を喪失したと認められる場合に、被害状況によって、町民税、固定資産税及び国民健康保険税並びに介護保険料の軽減または免除措置を行うものです。

専決された一般会計第3次補正予算

会計区分	補正額	補正後の予算額	採決
道路橋りょう費	1,200万円	5億2,871万5,000円	全員賛成
農林業施設災害復旧費	2,399万8,000円	2,401万円	
公共土木施設災害復旧費	1,499万9,000円	1,500万3,000円	
厚生労働施設災害復旧費	1,800万円	1,800万円	



こども園の崩落状況

議案 審議

一般会計第3次補正予算（専決処分）

Q 第3次と第4次補正予算はどのように分けたのか。

A 第3次補正予算は、緊急に災害復旧事業に取り組むため、基本的に測量設計委託の予算を計上させていただきました。

Q 補正にあげた設計委託の場所はどこか。

A 農道が4ヶ所、林道が16ヶ所、町道、河川等が24ヶ所です。民生費の復旧費については、こども園の敷地周辺です。

議案 審議

一般会計 第4次補正予算

歳入歳出をそれぞれ1億円増額して、総額52億7732万円とするものです。

主な歳入は財政調整基金からの繰入金、緊急防災・減債事業債の増額です。

歳出は、台風19号に伴う被災箇所への災害復旧事業補助金、施設修繕復旧工事費、こども園進入路復旧工事費などです。

Q 第4次補正の災害復旧費は、こども園の3ヶ所の崩落、土砂崩れ等に対する工事費用か。

A 登園の坂道崩落に対する積みブロック等の工事分です。

採決 全員賛成

可決

旧論田小学校跡地利活用

全員協議会

12月6日に行われた議会全員協議会では、旧論田小学校校跡地利活用等についての説明がありました。



利活用の提案があった旧論田小

旧論田小跡地利活用

県主催の企業立地セミナーでのプレゼンを受け、2社から旧論田小学校跡地の利活用について提案がありました。その企業や業務内容、利活用の提案内容についての紹介、説明があり、町執行部との意見交換がなされました。

提案内容

- ・バイオマス発電事業（ガス化発電方式）
- ・ドローンを活用した事業

・ガス化発電方式とは
木質チップ等を燃料とし、直接燃焼させるのではなく、加熱することで発生させたガスで発電するもの。

その他

- ・会計年度任用職員制度
- ・古殿町第7次振興計画についての説明が行われました。



古殿町第7次振興計画審査委員会の様子



一般質問は、12月11日に7人の議員が12問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをたずねる

一般質問

町政を質す

野崎 喜彦 議員 8

- (1) 台風被害の復旧と今後の対応について
- (2) 令和元年度の事業評価・検証と新年度予算の編成について

緑川 栄一 議員 9

- (1) 人口減少対策と企業誘致計画は
- (2) 道の駅の改修計画は

木戸 久康 議員 10

- (1) 主要事業の検証と今後の町づくりは

佐川 勇司 議員 11

- (1) 次年度の町活性化に向けた取り組みについて

佐藤 弘信 議員 12

- (1) 令和2年度事業計画と財源の確保について

藁谷 直吉 議員 13

- (1) 食物アレルギーの子どもへの支援について
- (2) 防災対策について

岡部 淳一 議員 14

- (1) 木材乾燥施設及び厩舎の利用と今後の在り方
- (2) 台風災害にからむ今後の対応策について
- (3) 今後取り組むべき案件



のさき よしひこ 野崎 喜彦 議員

台風被害の復旧と今後の対応は

上限50万円の助成と急傾斜対策を実施

町長

この秋に襲来した台風19号は、東日本の各地に深刻な被害をもたらしました。当町でも、大雨により床下・床上浸水、住宅の裏山、道路やのり面の崩落。更には、農地や林道そして農業施設などにも被害が発生しています。10月12日の16時08分には、複数の地区に「避難勧告」を発する事態となりました。そこで、次の点について伺います。

野崎 町の被害の全容と被害総額は。

町長 町道及び河川84ヶ

所、農道・農業施設や林道が160ヶ所、水稲・ミニトマトで1ヘクタール。合わせて概算額は7億円を超える被害状況です。民間企業の被害や床上・床下浸水やこども園などの土砂崩落など広範囲な被害が発生しました。

野崎 災害復旧で、国・県からの補助・支援は。

町長 災害復旧事業の起債や各種支援制度があるので、適切に対応してまいりたいと考えております。

野崎 避難所の開設と設

定時期は的確だったのか。
町長 自主避難所の開設などを防災行政無線で周知するなど適切な対応ができたと思っております。
野崎 農地の復旧・住宅改修や修繕に対する町の支援は。
町長 個人が機械を借り上げての作業は、その費用の2分の1、上限50万円まで助成します。住宅の応急修理の助成は要件に該当するものではありません。
野崎 『個別支援計画』の策定を急ぐべきでは。
町長 新年度中には策定したいと考えております。
野崎 『避難行動要支援者名簿』はどうか活かされたのか。
町長 名簿を基に、高齢者などの個別訪問や電話による安否確認などを実施しました。
野崎 『住宅背後の急傾斜対策』を推進すべきと思うか。
町長 既成宅地防災工事等助成事業により急傾斜対策を実施しております。

令和元年度の事業評価と新年度予算の編成は

有害鳥獣防止対策は引き続き支援を

町長

今年度は特に、管内の他市町村に先駆けて、こども園・小・中学校給食費等の無償化を始め、地域交通最適化に向けた調査事業や交流人口拡大を目指した取り組みなどが新事業として組み込まれてきました。また、ふくしま森林再生など継続事業も執行されましたが、それらの事業実績の評価・検証を踏まえ、たうえで、予算の仕分けをする

ことが求められます。そこで、次の点について伺います。

野崎 有害鳥獣被害防止対策事業の成果と次年度に向けた取り組みは。

町長 電気牧柵は、101件、総延長約3万4千メートルへの補助、ワイヤーメッシュ柵は3千メートルを設置予定。引き続き設置補助して参りたいと考えております。

野崎 『がんばる活性化支援事業』は次年度も継続するののか。

町長 平成31年度から起算して、3年間としております。

野崎 『町民参画による町づくりの推進』の進捗具合と内容は。

町長 振興計画の策定や『町長との談話の日』などで意見を頂いています。

野崎 『地域交通最適化に向けた業務委託』の進捗状況と事業の完成・開始はいつか。

町長 今年度中に報告書が納品される。次年度以降に具体的な事業の検討を行います。

野崎 『ふくしま森林再生事業』は復興・創生期間後も継続すべきと思うか。

町長 引き続き国に要望してまいります。

野崎 次年度の重点事業主な施策は何か。

町長 次年度の事業は取りまとめ中。町民が元気で安心して暮らせる町づくりに取り組みます。



ワイヤーメッシュ柵設置の様子



みどりかわ 緑川 栄一 議員

人口減少対策と企業誘致計画は

直接的に人口減少を解決する対策はありません

町長

古殿町の人口は、合併以来産業構造の変化及び生活環境の変化等により減少の一途をたどり令和元年中には、5千人を下回る事が、確実となっております。人口が減少する事により事業の見直し計画の変更等により、事業の縮小や廃業等により人口減少に拍車をかけております。いわゆる負の連鎖状態にあると思われます。そこで、次の点について伺います。

緑川 具体的な人口減少対策は。
町長 人口減少は全国各地で抱えている課題であり、直接的に人口減少を解決する対策はありません。人口が減少している現状に柔軟に対応しつつ今ここに暮らす町民のみならず住んで良かったと思ってもらえる様々な取り組みを進めております。
緑川 新たな子育て支援事業は。

町長 予算編成に向けた精査を進めている中で現時点では健康福祉課を中心とした関係部署において既存事業の充実へ向けた現行制度の見直しやサービス向上への話し合いを進めております。

緑川 高校生に対する通学費の支援計画は。

町長 現在のところ町奨学金資金運用の中で高校生の通学費として、1万円を無利子でお貸ししておりますので、引き続き活用して戴きたいと考えております。

緑川 古殿町において、誘致企業等による新たな産業の構築計画は。

町長 議会全員協議会において説明させていただいた状況にあります。

道の駅の改修計画は

周辺整備も含め、今後検討してまいります

町長

道の駅、おふくろの駅は、建築より約20年となります。建築時は、農産物直売所の機能を優先に設計された建物であります。他の道の駅に比べ、小規模でありその機能を兼ね備える新たな建物の建築が望まれております。また運営面においても新たな法人等による運営が望まれるところであります。そこで次の点について伺います。

緑川 道の駅の改修計画は。

町長 平成12年度に建築し耐用年数が木造かつ店舗用であるため22年であり、それを経過するのが令和4年度となることから、周辺整備も含め、今後検討してまいります。



一律助成が求められている高校通学費

緑川 町振興公社等による運営形態の考えは。
町長 現在のところ、今までと同様、株式会社おふくろの駅の指定管理による運営を考えております。



木戸 久康 議員

主要事業の検証と今後の町づくりは

今後を見据えて事業の検討を行って参りたい

町長

過疎化、少子高齢化が急速に進み、壮年層の独身者も多く感じられます。景気も後退感があり、町税の減収や国からの交付税も厳しくなる事が予想されます。

そのような状況下、主要事業は説明の通りの内容で実施されているか、また、今後町をどの様に導くのかを検証するため、次の点を質問します。
木戸 地域おこし協力隊事業・交流拡大事業のこれまでの実績と自己採点

は。

町長 馬杉スタンプラリー、ミニトマトを使用したパンの作成、チェーンソーアートと昔話のコラボレーション、町PRのためのCM作成等を実施してきました。

交流拡大事業については、旅行情報誌に古殿町の観光スポットについてPR広告の掲載をしております。

木戸 地域づくり支援事業は何団体に支援しているか。



チェーンソーアートと昔話のコラボ

町長 今年度は現在までに19団体に支援をしております。

木戸 大豆栽培促進事業のこれまでの実績、内容と今後の見通しは。

町長 大豆買い取り時に1kgあたり400円となるように負担し、大豆生産農家の所得向上を図つ

ております。買い取った大豆は、町内の農家の方へ味噌の製造原料として販売するほか、6次化産品として大豆ミートを製造しおふくろの駅にて販売し、給食等に利用されております。

木戸 高齢者居住施設、旧保育所跡地の宅造事業の進捗状況は。
町長 高齢者居住施設についてはグループホーム運営及び高齢者居住施設の見守り業務等の受託会社の公募・選定を進めており、12月中には決定する予定です。
 旧保育所跡地の宅地造成事業については、実施設計を進めているところです。
木戸 我が町の台風19号の被害状況は。
町長 町道及び河川で84ヶ所、農道・農業施設や林道が160ヶ所、水稻及びミニトマトで1ヘクタール。合わせて概算額は7億円を超える被害状況です。民間企業の被害や床上・床下浸水や、こども園などの土砂崩落など広範囲にわたる被害が発生しました。
木戸 仙石地区のほ場整備事業の現況と今後の進め方は。
町長 「仙石地区集落営農に向けた準備委員会」

が設立され、実施実現に向け検討を重ねているところです。町としても仙石地区の意向を重視し、担い手への農地集積等のモデル側として協働して進めて参りたいと考えております。
木戸 壮年層の婚活(国際結婚)に行政で手助けできないか。
町長 相手国の手続きを熟知している方が現地へ一緒に出向いて協力している方がいる事は承知しております。行政としてどのように手助けできるか今後の動向を見据えて検討して参りたいと思っております。
木戸 地域交通最適化調査委託事業の現在の状況と今後の進め方は。
町長 今年度中に報告書が納品されます。次年度以降に具体的な事業の検討を行って参ります。



さかわ ゆうじ 議員
佐川 勇司

町活性の拠点・道の駅構想は

木造建築で規模等は検討

町長

人口減少や過疎化が懸念され、町のさまざまな活性化が求められます。その中でも町内外から人が集まり常に活気あふれる町の顔が道の駅と考えます。生産者の顔となる採れたて野菜やその素材を生かしたグルメなど、また、その地域ならではのイベント・体験広場など、来場者もその地域のいろいろな、特色に期待をかけ、全国から足を運ぶ人が多く、一つの観光スポットとなり、町の活性化の拠点となる所とします。

県道14号線いわき側の道路整備完了まで約2年弱、かなりの交通量も期待され、いわき間がより近くなります。農産物直売所オープンから間もなく20数年を迎え、現在の直売所も老朽化が進み改修の時期と考えます。道の駅拡張整備完成には時間が必要だと思います。町の活性化をめざし、交流人口の拡大と観光誘客も含め、次年度から取り組むべきと考えます。そこで、次の点を伺います。



町の活性の拠点・拡張が求められる道の駅

佐川 町活性の拠点として、新たな道の駅整備計画に次年度から取り組むべきと考えますが、どうか。

町長 平成12年度に建築し耐用年数が木造かつ店舗用であるため、令和4年度となることから周辺整備も含め、今後検討してまいりたいと考えております。

佐川 ふるどの杉材は東京山手線内の駅に利用されるなど、全国的にも知られています。町産材を最大活用した『行ってみたいと思う木造建築の道の駅』と思いますが、どうか。

町長 道の駅は町の顔ともいえる位置付けの施設でありますので、木造で建築したいと考えております。

佐川 現在の道の駅敷地面積は約5千800㎡と前回聞きましたが、道の駅最適機能と十分な駐車場も考え最低2万㎡以上の用地が必要だと思いますが、まずは用地取得の考えは。

佐川 交流人口の拡大事業として、観光誘客を図るための、本年度実施した内容と今後の取り組み施策は。

町長 首都圏の旅行会社との商談活動や、旅行会社とつながりのある近隣町村の旅館等と情報交換を実施しております。今後は、今年度同様に商談会場に積極的に参加し、『まちづくりセミナー』等で提案される事業について実施していきます。



観光まちづくりセミナーの様子



さとう ひろぶ 議員
佐藤 弘信

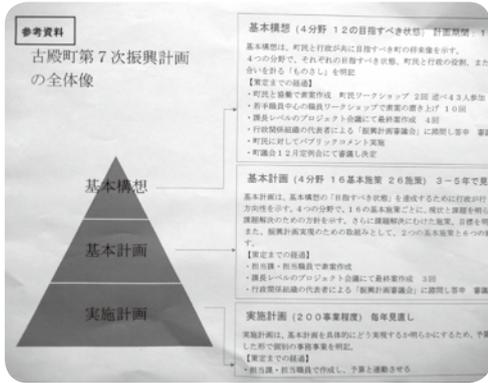
令和2年度の事業計画と財源の確保は

第7次振興計画の基本理念の実現を図る

令和2年度を迎えるにあたり、町の振興・町民の福祉向上を図る上で重要となる予算編成時期を迎えます。

予算編成内容と使われ方によって、町民の暮らしを直接左右する重要な性格を持つものであり、裏付けとなります財源の確保が重要な課題であります。

町民の福祉の向上、生活基盤の整備・拡充、財源の確保等予算編成に對しての、基本方針・重要施策を伺います。



第7次振興計画の全体像（参考）

町長

佐藤 新年度の予算編成に對する基本方針は何か。
町長 第7次振興計画の初年度にあたり、基本理念及び地方創生の実現に

町長 学校行事、教育力リキウム、公民館事業を見据え検討していきま

向けた取り組みに重点を置いた予算編成をします。
佐藤 財源の確保には、どのような見通しを持っているか。

町長 厳しさを増している財政状況において、財源を効果的・効率的に活用し、国・県の予算編成の動向に注視し、地方交付税措置のある有利な起債の活用を積極的に図り、財源の確保に努めます。

佐藤 紫波町の子どもたちを招いて交流は出来ないか。

佐藤 健康管理維持のために、更なる医療費削減の新たな事業の構想はあるか。

町長 県の事業を活用し、ライザップと協働の健康づくり事業を実施しています。引き続き、生活習慣の改善・発症予防の取り組みをしていきます。

佐藤 6次商品化の新たな開発の構想はあるか。

町長 郡山開成学園と結びました包括連携協定をもとに、ミニトマトを使用したジュース及びドレッシングの開発を行っています。



紫波町での子供達のスポーツ交流
(平成21年度、紫波町にて)



ライザップと協働での健康セミナー

います。今後も協定を活用し、幅広く試作等に取組みます。
佐藤 新年度の重要施策の構想はあるか。
町長 令和2年度の事業については、現在取りまとめ中ではありますが、継続事業として、新たなコスモス荘や高齢者居住施設の整備、宅地造成など、町民の皆様が元気で安心して暮らせる町づくりに取り組めます。



わらがや 直吉 議員
なおよし 直吉 議員

食物アレルギーの子どもへの 食材費を支援する考えは

関係課で協議を重ねていきます

町長

平成31年4月から、こども園、小学校、中学校の子育て支援のために完全に給食費の無料化が実施されました。

一方、食物アレルギーの子どもを持つ世帯は、給食費の無料化の恩恵を受けられない、不公平であるとの声があります。

そこで、次の点について伺います。

藁谷 町のこども園、小中学校にアレルギーを持っている子どもは何人

いますか。

町長 こども園で5名、小学校5名、中学校3名の計13名です。

藁谷 食物アレルギーの子どもには、どういった対応をしていますか。

町長 現在、業務委託している鮫川給食センターにおいて、アレルギーに係る食物を取り除いた除去食や代替給食の提供、または、弁当持参で対応をお願いしています。

藁谷 給食費の無料化に

伴って、自宅からの弁当に頼らざるを得ない子供たちに、公平性の点から食材費の経費を支援する考えは。

町長 今年度より学校給食の無料化が始まったところであり、教育委員会及び関係課で協議を重ねていきたいと考えています。

こども園の裏山が台風で崩落 したがどのように進めるのか

斜面全体の地質調査等実施し 対応を進めます

町長

令和元年10月12日から13日にかけて、本県を巨大台風19号が通過しました。未曾有の豪雨により他県、県内、わが町の至る所で災害が発生させました。町民が安全安心で暮らせるためには、災害の教訓から大規模化する災害への備え、災害に強い町に進めなくてはなりません。

そこで、次の点について伺います。

藁谷 町の防災計画をどのようにして改正していくのか。

町長 実効性のある防災計画等の見直しに向けて内容等精査し、必要があると認めるときは、防災会議において修正をしていきたいと考えております。

藁谷 ハザードマップを早期に作成すべきと思うが考えは。

町長 土砂災害警戒区域の指定状況を確認し、早期に作成したいと考えております。

藁谷 河川対策をどのように進めていくのか。

町長 今年度、鮫川及び

大平川、九竜川の堆砂除去が進められているところであり、今後も計画的に実施されるよう要望していきたいと考えております。

しております。調査終了後その結果を見極め、対応を進めてまいります。

藁谷 亀の甲状に壊れた町道をどのように改修していくのか。

藁谷 町消防団に小型ボートを配備すべきと思うが考えは。

町長 石川消防署においてボートが配備されております。

藁谷 こども園の裏山が台風で崩落したが、今後どのように進めていくのか。

町長 委託業者に斜面全体の測量設計業務を委託し、現在地質調査等実施

町長 舗装個別施設計画に基づき実施しているところではありますが、特に状況がひどい箇所については、部分的な修繕も実施しております。

藁谷 臨時議会の議案書は議会口前までに議員に届くようにする考えは。

町長 その都度、適時、適切に対応してまいりたいと考えております。



こども園の南側崩落状況



おかべ じゅんいち 議員
岡部 淳一

木材乾燥施設及び厩舎の利用と今後の在り方は

需要拡大・PRの取り組みを検討します

町長

この2つの施設は、今後の町おこしに大きな期待を抱かせるものとして創案・実施されました。私はこの方向性について間違ったものとは思いません。しかし、施設が出来て本格運用になると思っていたにも関わらず、方向性を見失ってしまっただかのような状況が続いています。そこで原点に立ち返って現実的な問題を質問します。

町長 組みを伺います。
町長 乾燥機の稼働は第3四半期の本日時点で20週間となっています。町産材の高付加価値化や町内製材業者への乾燥技術の周知・普及を目的に試験機を導入し、町内製材業者が乾燥機を導入したことは一定の成果がありました。今後、町産材の需要拡大・PRの取り組みを検討します。

岡部 乾燥施設の利用状況と今後の利用促進の具体について考え方を取り



木材乾燥施設

町長 今後の利用促進の具体は、今年度の利用はありません。必要に応じて

岡部 1点目及び2点目の方向性が難しい場合、施設使用解消もあるのか。
町長 いずれの施設も国からの交付金を受けて建設したものであり、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律に、「財産処分制限」が限定されていますので、施設としての使用解消については、各省庁の承認を受けなければならぬと認識しています。

町長 今年度の利用はありません。必要に応じて

台風災害にからむ今後の対応策は

防災計画を見直します

町長

利用する考えです。
岡部 1点目及び2点目の方向性が難しい場合、施設使用解消もあるのか。
町長 いずれの施設も国からの交付金を受けて建設したものであり、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律に、「財産処分制限」が限定されていますので、施設としての使用解消については、各省庁の承認を受けなければならぬと認識しています。

台風19号の被害状況からは多くの問題点を学ばなければなりません。そこで次の項目を伺います。
岡部 ハザードマップができる前に災害が発生した。土石流の指定は具体的に変わったのか。それ以外のハザード部分は確定しているのか。

町長 土砂災害の指定を確認し早急に作成します。それ以外は検討します。
岡部 避難所からの避難という問題も出てきたが意味するものは何か。
町長 当初、町公民館への避難となったが、その後、全町民避難勧告により、やぶさめアリーナへの避難を防災無線でお知らせしました。

岡部 才竜内地区の沢がまたも氾濫した。抜本的な改善策は検討しているか。
町長 現地は確認しているので対応策を検討していきます。
岡部 国・県への陳情で実質的な対応への答えは出ているのか。
町長 道路改良や堆砂除去が実施されており、効果は出ています。

その他の質問

今後の取り組み組むべき案件として

- ・ 交通アンケート
- ・ 国保税均等割
- ・ アレルギーにより弁当持参の子どもへの食費支援

についての質問も行いました。

No.48

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ 学校給食の無料化を

Q 平成30年6月一般質問から

石川管内の給食費支援に合わせ、子育て支援と若者定住促進対策を維持しながら給食費無料化に取り組むべきと思うがどうか。

A 町長答弁

現在の支援内容を継続しながら検討を進めます。



その後の
対応

平成31年4月から無償化されました。
(こども園、小、中学校給食費無償化)



こども園の給食の様子

給食を残さず食べよう！



しみもっちー

平成27年の中学生議会で提案されて誕生した「凍み餅」のキャラクター

みんなのページ

No.41

今回紹介するのは、「元気でいっかいin田口」の皆さんです。

*元気に暮らすためには健康が一番!!

「元気でいっかいin田口」の設立は平成30年の9月で、活動は、毎月第2木曜日に開催。年度初めに、各々の趣味などを生かして一年間の行事が決められている。代表の野崎幸子さんに会員数を聞くと「会員制ではなく、チラシの呼びかけで集まった人達で活動しています。会の始まりには、いつもラジオ体操を行います。健康が一番」と話していました。

「10年先まで元気に過ごせるような活動」を目指していると言うだけあって、催しも「健康教室」「桜ウォーキング」「ペーパークラフト」「料理教室」などその内容も多彩だ。



とにかく元気一杯な田口のお母さんたち

*毎月が楽しみ・多くの参加者を!!

12月13日には、「魚料理教室」が行われた。この日の参加者は11人。サバとイワシをさばいて「サバの南蛮漬け」と「イワシのつみれ汁」などが作られ、完成した料理を食べながら楽しい食事会となった。来月は、「温泉を楽しもう」という行事が組まれているようで、「お湯入りが楽しみだね」と会話も一段と盛り上がっていた。

参加した瀬谷利子さんは、「毎月楽しみにしています。多くの人に参加してほしい」と笑顔で話していました。会の名称のとおり、とにかく元気なお母さん達の集まりです。



魚のさばきもサスガです。(魚料理教室)

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

2月 下旬

古殿町のホームページからもご覧いただけます。

古殿町 検索 → 町議会へ

ふるどの議会だより 第150号
令和2年1月20日発行

16